

ご自由に
お持ち帰りください

パレット -Palette-



CONTENTS

- ・院長コラム「マイナ保険証についての知識」
- ・「開業 150 周年記念連載 第二章」
- ・リハビリテーション便り
- ・150 周年記念イベントのご案内

～笹井眞砂子さまより～

当院のホームページ
もご覧ください。



<https://www.kurume-reha.or.jp>

理念

- 必要不可欠
「地域と生きる」「地域を活かす」地域において必要不可欠な存在であること。
「あると便利」ではなく「ないと困る」組織作りを目指します。

基本方針

- 全人的医療の提供
説明と同意のもとに、個々の皆様の病状や人生観に合わせた尊厳ある医療を目指します。
- 医療の選択性の確保と総合支援
皆様ご希望される医療機関等へのご紹介や、介護福祉関連サービスが継続して受けられるよう支援いたします。
- 地域ネットワーク
地域における医療・介護・福祉の連携活動、交通事故重度障害者の支援事業、福岡県の介護予防事業、久留米市の包括支援事業などに対して、積極的に参加し支援していきます。
- 自己研鑽
チーム医療を駆使した最新医療を提供するため日々自己研鑽に努めます。

マイナ保険証についての知識



最近暑い日が続いていますね。「地球温暖化のせいだ」とよく言われますが、実は「偏西風（へんせいふう）」という上空の風が、以前よりゆがんでいるためとも言われています。いずれにしても、今の時代は気温が高く、簡単に熱中症や脱水症になるおそれがあります。特に日中の暑い時間に、外で草取りや庭の手入れ、運動などをするのはできるだけ避けましょう。そして、こまめに水分をとることがとても大切です。飲み物は水や麦茶で十分です。甘い飲み物や塩分の多い飲み物は、かえってのどが渇いてしまうことがあります。緑茶やコーヒーはおしっこが出やすくなるため、あまり適していません。

さて、最近のニュースで「マイナンバーカードの保険証（いわゆるマイナ保険証）」を使うサービスの拡充についての報道を目にする機会が増えています。これは「電子処方箋」や「電子カルテ情報共有サービス」と呼ばれ、2030年までにほとんどすべての医療機関での導入を目指しているそうです。電子処方箋とは、紙の処方箋を使わずに、薬の情報をインターネットでやりとりするものです。電子カルテ情報共有サービスでは、各病院の電子カルテに保存されている情報を他の病院でも共有できるようにする仕組みです。

このようなデジタル化が進められている背景には、患者さんの情報を一つにまとめて、医療にかかわる費用のムダを減らすという目的があります。一方では、デジタル化が進めば進むほど医療機関の設備費や維持費がかさみます。とはいえ今はどんな分野でも世界的にデジタル化が進んでいますので、医療もその流れにのっていくことは避けられないのかもしれませんが。

しかし、ここで注意したいのは、「医療の効率がよくなること」と「治療の質がよくなること」は必ずしも同じではないという点です。電子化によって、診察の記録や検査結果、薬の情報などの管理が便利になったとしても、実際に行われる診察や治療の内容自体が良くなるわけではありません。むしろ、病院のやり方を統一しすぎると、必要のない人にまで検査や薬が出されてしまい、かえって医療費が増加したり、質が下がってしまう可能性もあるのです。

さらに、健康保険証の制度も大きく変わろうとしています。2024年12月2日からは、現在の健康保険証の新しい発行が終了し、マイナンバーカードと一体化されます。そして、2026年度を目標に、次の新しい個人カードへの切り替えも予定されています。つまりこれからの医療は、マイナンバーカードがなければ受けられなくなる時代になるということです。

ただし、ここで心配なのは、高齢者を含む多くの人がこのデジタル社会についていけるのかということです。2030年には、65歳以上の人々が3人に1人、75歳以上の人々が5人に1人になります。最近ではスマートフォンを使った詐欺も多く、高齢者に限らず誰でも被害にあう可能性があります。便利だからといって、誰もが安心して使えるわけではありません。だからこそ、国には十分な安全対策やサポート体制を整えてほしいところです。

スマートフォンやマイナンバーカードはとても便利なものですが、取り扱いを誤ると大きなトラブルになることもあります。みなさんのマイナンバーカードは今どこにありますか？ きちんと保管できていますか？ 情報がたくさん詰まった大切なカードですので無くしたり、盗まれたりしないように、日ごろからしっかりと管理しましょう。また有効期限があるため更新が必要です。忘れると権利を失効します。

これからの時代、デジタル社会にどう向き合うかがとても大切になります。わからないことがあれば、一人で悩まずに、役所や身近な相談窓口で聞いてみましょう。安心して医療を受け、安心して暮らせるように、少しずつ準備を進めていきましょう。

現時点で私はマイナンバーカードを持たないので、病院や歯医者さんに行くときには、「健康保険証」「健康保険高齢受給者証」そしてそれぞれの病院の「診察券」が必要です。来年からは「後期高齢者医療保険証」に変わります。それでもあまり不自由は感じていませんが、現行のままであれば、来年にはマイナ保険証を取得しないと医療が受けられなくなります。

豆知識

【マイナンバー】

日本人全員に割り当てられる 12 桁の識別番号（申請必要なし） 原則として生涯同じ番号を使用する永久的な番号です。盗まれると「なりすまし詐欺」の危険性が出てきます。

【マイナンバーカード】

個人番号と顔写真が記載された IC カード（申請が必要）

以下の目的で利用されます

1. 本人確認（顔写真付き身分証明書として使用）
2. 行政手続の簡素化（住民票取得や引越し手続きなど）
3. オンライン申請（マイナポータルや確定申告）
4. 健康保険証、運転免許証としての利用
5. コンビニでの各種証明書取得

【マイナポータル】

行政手続や個人情報を確認できる政府のオンラインサービス（逆に政府は国民を監視できる）

- ・子育てや引越しの行政手続をオンラインで申請できる。
- ・自分の医療費や年金記録を確認できる。
- ・誰が自分の情報を閲覧したか履歴を見られる。
- ・確定申告の事前入力に活用できる。

前号で初代 柴田元龍政克氏の歴史を観て頂きました。

この章では 2 代目から現在の柴田元院長までの歴代の院長の歴史を追います！

FAMILY HISTORY

ファミリーヒストリー-2 代目～4 代目の定積

第二章

2 代目から現代へ

2 代目 柴田 藤之助 明治 2 年 生まれ

若い頃寝る間も惜しみ勉学に励み、20 歳の時に最年少で医術開業試験に合格する。→1889 年徴兵され三年間の兵役へ

- ・ 明治 25 年柴田元龍家の養子となる
- ・ 明治 28 年元龍の一人娘のキクヨと結婚
- ・ 明治 33 年に 2 代目を継承する。

3 代目 柴田 崇 明治 33 年 生まれ

幼少期あまり勉学が出来なかったが、進学し上京して予備校に通い、慈恵医科大に良い成績で合格した

- ・ 慈恵医科大を卒業し、故郷久留米に戻ってくる。
 - ・ 大正 3 年福岡の九州帝大・武谷内科に入局。
 - ・ 父藤之助が胃潰瘍になったのを機に実家に戻り、3 代目を継承する
 - ・ 芸者遊び等にはまってしまい、多額の借金を負ってしまう。
- ご先祖に申し訳がないと一念発起
周りに助けられながら、昭和 17 年兜山・結核養生所が完成。
・ 脳梗塞を患い、後継者が必要になり長女睦美の養子を迎えることに

4 代目 柴田 忠（内科医）（崇の長女睦美の婿）

芸術肌で温厚篤実な性格で医療技術の腕前は高く評価されている。

睦美夫婦奮闘と崇の妻青里一族の支援で結核病棟を持つ内科（一般内科・循環器・呼吸器・消化器）病院へと発展させていく。



そして、忠の長男 元に受け継がれていき

大規模なりハビリ施設・最新の医療機器・介護療養型医療施設を持ち 200 名を超える従業員のいる病院へとつないでいく

第三章へつづく

～リハビリテーション便り～

熱中症予防

久留米市内での熱中症搬送状況（令和6年7月21日現在）

月	搬送件数	年齢			発生時間帯				発生場所	
		18歳未満	18歳以上 65歳未満	65歳以上	0時～6時	6時～12時	12時～18時	18時～24時	屋外	屋内
5月	16	6	2	8	0	5	9	2	10	6
6月	20	2	5	12	0	6	12	2	12	8
7月	88	9	34	45	2	29	45	12	49	39
令和6年度 (速報値)	124	17	41	65	2	40	66	16	71	53

！高齢者は特に注意が必要です

1 体内の水分が不足しがちです

高齢者は若年者よりも体内の水分量が少ない上、体の老廃物を排出する際にたくさんの尿を必要とします。

2 暑さに対する感覚機能が低下しています

加齢により、暑さやのどの渇きに対する感覚が鈍くなります。

3 暑さに対する体の調節機能が低下します

高齢者は体に熱がたまりやすく、暑い時には若年者よりも循環器系への負担が大きくなります。

※心臓や腎臓の悪い方や持病をお持ちの方は、かかりつけの医師にご相談下さい。

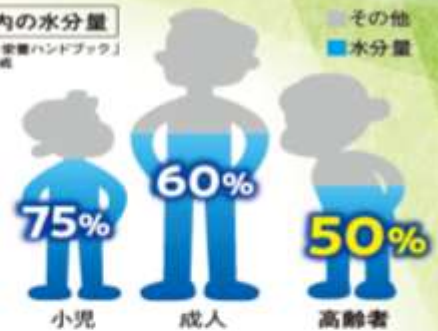
●東京都23区における熱中症死亡者の状況(令和3年夏)

※計39人(速報値)のうち

約8割は65歳以上の高齢者

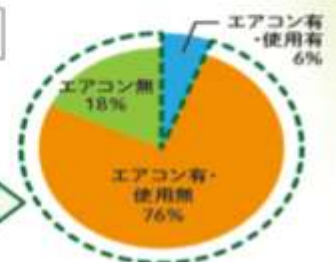
市内での死亡者のうち 約9割は
エアコンを使用していなかった

体内の水分量
「職場・家庭ハンドブック」
より作成



エアコン設置有無・
使用状況別
出典：東京都監察医務院

■エアコン有・使用有
■エアコン有・使用無
■エアコン無



熱中症の要因

環境要因：気温、湿度、風通しなど

身体要因：運動、暑さに体が慣れていない、
疲労、寝不足、など



散歩や屋外活動を行う際は、水分補給を忘
れずに朝や夕方に行うようにしましょう！

外来診察のご案内

	月	火	水	木	金	土	日祝
午前	一般内科	柴田 怜 Dr.	副院長	田原 Dr.	一般内科	一般内科	休 診
	整形外科	泌尿器科	整形外科	消化器内科	整形外科	整形外科	
		糖尿病 内分泌			膠原病 ※第3週		
午後		皮膚科 ※14時～					

健康診断・予防接種 予約制となっております。外来受付にお問い合わせください。

※**青字** は予約制ですのでご注意ください。※外来リハビリテーションは午後も行っております。（**予約制**）

※午後の診察は、火曜日の皮膚科のみ行っています。

※急患及び紹介の場合は、午後でも診察は行っています。

※ご不明な場合はいつでもお問い合わせください。

当院は今年、開業 150 周年を迎えます！



～ いろんなイベントを企画中です ～



まずは、9月21日（日）にオープンホスピタルを開催します！
大人も子どもも楽しめる内容となっていますので、ぜひご参加ください！

11 月には記念講演会をおこなう予定です。
詳しくは次号でご案内します！

医療法人かぶとやま会

久留米リハビリテーション病院

〒839-0827

久留米市山本町豊田 1887

TEL:0942-43-8033 FAX:0942-45-0388

HP: <https://www.kurume-reha.or.jp>

e-mail: k-reha@ktarn.jp



《編集後記》

今年はとても早く梅雨明けとなったこともあり、暑い時期が例年以上に長くなりそうです。

熱中症対策を心がけながら、夏を楽しく乗り切るようにしましょう！そして秋はぜひ、当院の 150 周年記念イベントに参加してください！！